

新学習指導要領の趣旨を踏まえた 授業づくりに関する研究

研究の背景

平成29年3月に小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領が公示され、小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から全面実施となる。今回の改訂では、子供たちが未来社会を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成することが示されている。また、知識理解の質を更に高め、確かな学力を育成することも求められている。

資質・能力の確実な育成と知識理解の質を高めるためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善とそれに伴う学習評価が必要不可欠である。

そこで今年度は、新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価の考え方や進め方を説明し、小学校・中学校（中等教育学校を含む）の全教員が「指導と評価の一体化」の実現に取り組むことができるようにした。

研究の目的

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価の考え方や進め方について、『新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価』として、まとめた冊子を作成し、研修講座や学校支援、また、県内小学校・中学校における授業研究等で活用することによって、県内全学校の「指導と評価の一体化」に向けた、授業改善を促進し、児童生徒の資質・能力の確実な定着を図る。

研究の内容

《新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価》

平成29年度作成の冊子『新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり』と、平成30年度作成の冊子『新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくり（実践事例編）』で示した授業づくりのポイントを踏まえ、『新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習評価』を刊行する。本冊子には、「指導と評価の一体化」の実現を図るための学習評価の考え方や進め方のポイントを示している。

学習評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で示され、現行との相違点や今後重要となる考え方等を紹介している。特に学習評価は、教師の指導改善や児童生徒の学習改善につなげるためにあるという考え方やその実際の進め方を説明している。



学習評価を行う際、同校種において関連が深い他教科等のページを確認したり、異校種において同教科等のページを確認したりするなど、児童生徒の学びの全体像を踏まえて活用できるように小学校・中学校の内容を一冊にまとめている。

研究の活用、発展

- 県内の小学校・中学校に冊子を配布し、校内研修や授業研究、指導要録等の作成の際に活用する。
- 学習指導に関する研修講座及び授業研究等に関する学校支援の際に、平成29・30年度作成した指導資料と本資料を併せて活用し、各学校における「指導と評価の一体化」の実現に向けた学習評価の改善の促進を図る。